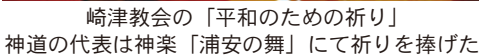


2016年7月26日～7月31日
ポーランド・クラクフにて

また教会と社会にとってWYDは、若者に目を向け、将来を担う若者に信頼と希望を置くことの大切さを確認するきっかけになるのです。(カトリック中央協議会ホームページより)

福岡教区からは5人の青年と同伴者としてイエスのカリタス修道会のシスター1人がワールドユースデークラフ大会に参加します。また田中重治神父(大楠教会)が日本巡礼団運営委員として参加。どうぞ青年たちと同伴者のためにお祈りください。また、カトリック中央協議会のホームページでワールドユースデークラフ大会のテーマや祈りについて紹介されています。



ミサが捧げられた。
宮原司教は聖ヨハネ・パウロ2世の言葉「過去をふり返ることは将来に対する責任を

最後の祈りが捧げられた。

最後の会場となった大江教会で、同教会出身の川口敏神父（大分教区）が「大江のキリスト者」と題して話した後、福者アダム荒川殉教を記念して宮原良治司教主司式の感謝

ち合われた。対話の後、「平和のための祈り」が捧げられた。まず、宗教を超えた連帯のしるしとして、熊本地震の被災者のためにローソクに灯がともされた。その後、それぞれの宗派の祈り方で平和の

う負の歴史にも目を向けた。『それぞれの宗教に過ちの歴史がある。歴史に学び、同じ過ちを繰り返さないよう、折々に信仰の元へ立ち戻り、人々の幸せのために手を取り合っていきましょー』と分か

教会共同体について語った。続いて、信福寺住職の池田集恵師と、鈴木神社宮司の田口孝雄師、そして渡辺神父の3人による対話が行われた。

対話ではキリシタンたちが神社やお寺を破壊した、とい

民族
ンアメリカとカリブ諸島
一列聖運動の推進
会出身の下町豊重神父が自身の
信仰と召命を育てた故郷の

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般】先住民族
【宣教】ラテンアメリカとカリブ諸島
【日本の教会】列聖運動の推進

天草にて「キリスト教天草伝来450年」記念行事

宣教師アルメイダが1566年に天草にキリスト教を伝えて今年で450年になる。これを記念して6月4日(土)、5日(日)に天草の3つのカトリック教会(大江、崎津、本渡)で記念行事が行われた。

い人々の支援を通して日本各地で多くの信者を獲得した。二日間にわたり4会場で行われた記念行事。天草のキリスト教の繁栄、迫害、潜伏、復興、それぞれの時代についての歴史と信仰の姿を振り返る機会となった。

最初の行事は4日、天草中央キリスト教会（荅北町／バプテスト）で行われた。天草キリシタン館元所長の緒方和雄さんによるアルメイダに関する講演に続き、カトリックとプロテスタントの合同祈祷

礼拝があり、同教会の南圭生牧師が講話を行った。

5日の行事はまず本渡教会で行われ、地元合唱団による合唱と、同教会信徒の松永公雄さんの「天草キリシタン」と題する話を聞いた。

正午からは崎津教会で同教

教区創立記念日

時の話題

教会の会議で、「教区のため」とか「教区は云々……」といったことをよく耳にする。そしてその「教区」ということばは、「教区事務局」、「司教館」、そして「司教様」を意味していることが多いし、その発音者も「教区」を外から見るとどのような姿勢の時もある。

正式には「司教区」と言われるこのことばは、「ひ

とりの教区司教にゆだねられた神の民の一部分」を意味している。キリスト者は「皆一つの体となるために」(Ⅰコリント12・13)洗礼を受けたので「キリストの体であり、また、一人一人はその部分」(同12・27)になる。このキリストの体が、神の民であり、全世界に広がる普遍教会である。だから、「司教区」はその教区司教にゆだねられた地域で、「普遍教会」を地域の状況の中で表現しようとする神の民なのである。

「司教区」においては、司教をはじめ、すべての教区民が、それぞれの立場で、でき

るだけこの神の民が神と人間との一致、人間同士の一
致のしるしと道具となるよ
うに励んでいる。教区民一
人ひとりとは、みな、イエ
ス・キリストと一つになつ
て「司教区」をつくりあげ
ているかがえのないメン
バーなのである。

手取・帯山教会主任
櫻井 尚明 神父

☆福岡教区は、1927年、
長崎教区より独立して創設
された。初代F・ティリー
司教（パリ外国宣教会）以
来、現宮原長治司教まで6
人の司教にゆだねられてい
る。7月16日は教区創立記
念日である。（編集部）

手取・帶山教会主任
櫻井尚明神父

教区内司祭研修会

教区内の全司祭による研修
 われた。今年は「いつくしみ
 秘跡を中心に研修した。神の
 によって体験されるものであ
 ノラ・フランコ神父に司祭団
 6月21日から23日まで行わ
 れた教区内全司祭研修会で
 は、ソットコルノラ神父（聖
 ザベリオ宣教会）が壇上に立
 ち講話をした。3日間に4回
 行われた講話は、「神のいつ
 くしみ」が中心であった。
 講師は、神のいつくしみを
 伝えるみことばを旧約と新約
 から拾い上げ、それぞれの個
 所の状況を説明しながら、神

が南関（熊本県）のホテルで行
「特別聖年」にあたり、ゆるしの
つくしみは特に「ゆるしの秘跡」
と熱く語る講師のソットコル
眞剣な眼差しで耳を傾けた。

がどれほど人間を愛している
か、いつくしみの手を伸ばし
てくださったているかをじゅん
じゅんと語った。更に、キリ
ストを通して示された神のい
つくしみが信者・未洗者を問
わず、すべての人に及ぶべき
ものであるとして、それが伝
えられるために司祭は選ばれ
たのであると述べ、司祭は教
会内外においてどれほど力を

から質問が多く出されたが、講師は丁寧な答えていた。

最後に、宮原良治司教の総括があつた。司教は、「学んで知つたことと実践をバランスよく用い、司牧に活かしていくように。霊肉の健康に留意しながら司祭の務めを果たしていくように」と話した。

参加したある司祭は、「聖書は神のいくしみの歴史である。それを伝え、神のいくしみを体験させること、自らも深く感じる事が大切だ」と聞き、改めて司祭の役目を確認しました」と話していた。

尽くしているかとの問いかけをもって、内的振り返りを求めた。そして、「ついに、すべての人が洗礼とゆるしの秘跡に与れるように務めるべきである。その秘跡こそ、神のいつくしみの体験である」と力強く語った。

また、「ゆるしの秘跡の儀式書」の内容を説明し、司祭が熟読して、準備するように促した。同時に、薄れつつある力トリックの教えを思い起こさせること、教えを補足すること、そして信仰を奮い立たせる努力が必要であると述べた。

今の時代の信仰者に生かされていることを思うとき、安閑としておれない気持ちになる。先達に恥じないような信仰者の生き方をしなければと、何かの方法で信仰を伝えていかなければなどと思う。幸いに日本の今は迫害など無い。だから、周りを恐れたり、気にしたりする必要は無い。何と幸せな平和の時代にいるのだからと感謝する。この安寧な時のためにかつての迫害時代があったのか、神は苦難を通して喜びの時を信仰者に与えてくださっているのかなどと考える▼司祭叙階されて間もない頃、遠くの親戚を訪れた。話しているうちに一人が言った。「お前も隠れキリシタンの子孫なんだぞ」と。一瞬何の事かと思った。後で考えてみた。「そうか、先祖が隠れながら守り、伝えてくれた信仰のお陰で、私は育てられ神父になったのだ」と気づいた。その時、「自分にも先祖からの信仰の血が流れているんだ。それはたどっていけば宣教師たちに、更に弟子たちに、そしてイエス様につながっていくんだ」という気持ちになった。自信と誇りを持たなければ。(S)

みちくさ

神のいつくしみと聖体をテーマに

福岡教区聖体奉仕者練成会



練成会に集った参加者ら

ことば（ローマ15・1-7）から、聖体奉仕者は、ご自分の満足求めず、かえって人々のために十字架上の死に至るまでご自分を与えつくしたキリストに倣って、自分の満足ではなく隣人の善を願ひ、共に向上して、心を合わせ声をそろえて父なる神をたたえる者であるとした上で、聖書、特に新約聖書のキリストのいつくしみが語られる箇所を丁寧に読み上げながら、参加者たちを神のいつくしみの極みである聖体の秘跡の神祕に導いた。

6月12日（日）、カテドラル大名町教会で福岡教区聖体奉仕者の練成会が開かれた。この練成会は、聖体奉仕者が3年間の任期の途中で、聖体奉仕者養成実行委員会が主催する練成会に参加して委ねられた奉仕職について研修するようにとの規定に従って開催されるものである。今回は、「神のいつくしみの特別聖年」に因んで、「神のいつくしみと聖体」をテーマに、講師に大分教区の山下敦神父を招いて開催され、全教区から140人が参加した。

山下神父は、まずパウロの

解説 「聖体奉仕者」とは

正式には「聖体授与の臨時の奉仕者」という。聖体授与の通常の奉仕者である司祭および助祭が不足している場合、また健康上あるいは高齢のために授与ができない場合、拝領者が多くて時間がかかりすぎる恐れのある場合に、司教あるいは委任を受けた司祭は、規定に従って、養成された信者を臨時に聖体授与者に任命することができる。また聖体奉仕者は病人のもとへ聖体を携え授与する。福岡教区では2004年に第1回の聖体奉仕者養成講座が開催され、以来約170名が教区長の任命を受けている。

いつくしみは共感に終わらない。盲人に、またやもめに近づき触れて癒される。追いはぎに痛めつけられた人に近づき、触れ、すべてを投げ打って介抱する。遠くに息子の姿を認めて走りより、しっかりと抱きとめ、宴会を催す。また、空腹の群衆を「見て深く憐れむイエスは、弟子たちを召して人々に食べ物を与えるように命じる。イエスは弟子たちについていつくしみを注いで、かれらを働き手として派遣するのである。いつくしみを注がれて、聖体のパンに奉仕する人たちも、周囲の人の痛みと共に感じ、人々に奉仕するようイエスによって派遣される。

いま、降りて行く人へ

ユースト高山右近という生き方

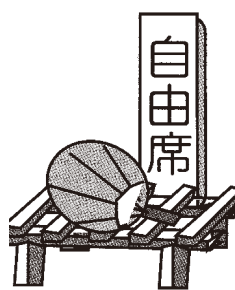
ひとり子を十字架上で死に渡すほどの神の思い、いつまでもわたしたちと共にいたいと聖体のうちにとどまられるイエスのいつくしみ。この神の狂ったような思いをしつかりと受け止め、聖体のイエスとながって一つになり、人々の一致のために仕える、聖体奉仕者はこのために招かれている。

(報告＝深堀純)



研修会の講師を務めた古巣馨神父

5月29日（日）、佐賀教会聖堂において佐賀地区信徒協研修会（佐賀地区宣教司牧評議会主催）が開催された。今回は長崎教区司祭・古巣馨神父を講師に招き、ユースト高山右近の生涯と霊性について学ぶもので、当初は1月25日に予定していたものの大雪による交通障害のため延期されて5月の開催となった。今年1月



教会を心のオアシスに

武蔵ヶ丘教会 岩元明治

教区現勢報告が出されましたが、年々信徒の減少が見られます。世界的な状況かも知れませんが、確実に信徒の減少は起きています。なぜでしょう、教会に心のやすらぎを見出せないと感じている人が多いような気がします。教会は主イエス様とのひととき、周りの仲間たちとの分かち合いの場所、心のオアシスであるはずですが、主日のミサ後、誰とも話すことなく教会を出ていく人が目立ちます。小生あちこち旅先で教会を訪ねますが、教会が入れないように

◆原稿は400字以内
◆投稿先：福岡カトリック司教館 教区報係宛
FAX 092・523・2152

※「自由席」と明記し、住所、氏名、年齢、電話番号、所属教会も明記してください。
※用語その他で編集・添削することもあります。
※原稿はお返しいたしませんのでご了承ください。

くまセン

カリタス福岡・熊本支援センター（くまセン）は5月9日の開設以来、毎日ボランティアを受け入れ、熊本地震被災地の支援を続けている。社会福祉協議会のボランティアセンターを通じての支援の



被災地での支援活動

6月8日に、肺炎発症のため帰天。享年65歳。東日本大震災復興支援のために設置されたカリタス大槌ベース（長崎教会管区）の立ち上げに尽力し、初代ベースを務めた。

ほか、小教区を通じてのニーズへの対応も行っている。がれきの撤去等の作業がまだ必要とされている。また、仮設住宅への入居も始まり被災者を孤立させない支援が必要となってくる。熊本地震被災者支援室 080・1761・4150

元カリタス大槌ベース長 ヨセフ古木眞理一神父（サレジオ会）

【月例黙想会】

期 日：7月9日（土）17時～10日（日）15時
指導者：染野 治雄 神父（福岡黙想の家主任）
費用：8,700円（税込・指導料含む）

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで

【奉献者のための黙想会】

期 日：7月8日（金）17時半～17日（日）9時
指導者：染野 治雄 神父（御受難修道会）
費用：80,000円（宿泊・食事・指導料含む）

◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)

Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ（赤）（白）

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

島崎教会 聖体礼拝 被災地熊本でキリストの聖体を祝う



熊本地震に耐え抜いた聖堂で行われた聖体降福式

5月29日(日)キリストの聖体の祭日、島崎教会で、主日のミサに続き、聖体降福式が荘厳に執り行われた。当教会では、この日、毎年恒例の聖体行列が行なわれているが、早朝からしつとりと雨に見舞われ、今年は、「熊本地震」に耐え抜いた聖堂で皆、心を一つにして、キリストの聖体を祝った。

先ず、「聖体の主日」のミサの共同祈願の中で、信徒の素朴で実直な、祈りが全知全能のおん父に向い唱えられた。「主よ、何故、私たちは、いつくしみの特別聖年のこの年、このひどい震災に見舞われなくてはならなかったのでしょうか。これを大

自然の私たちへの悪意とは思いたくはありません。このままでは終わらない。この後何かがあると思いたいのです。主よ、私たちに心の闇を照らす一条の光をお与え下さい。」

続いて、聖体讃美の中で、主の死を思い、復活を讃えつつ、今回の「熊本地震」で亡くなられた多くの犠牲者の霊を弔い、永遠のやすらぎが、祈り求められた。又避難所などで不自由な生活をよきなくされている被災者の方々が、多くの善意ある支援者の輪に支えられ、共に助け合い、一日も早く平穏な日常の生活に立ち戻れるよう、心を一つにして祈られた。ところで、今回の地震で、家が崩壊するなど、ひどい被害にあり、この式典に与かった女性の信徒は今の心境を率直に語った。

「どうして、こんな目にあったのか。この素直な気持ちです。神様の御心が知りたい。でも、このままでは終わらない。この後私たちが一人ひとりの心にきつと神様のささやきがあると信じています。これをしさと受け止めて、皆で分かち合いたい。このささやきを私たちは今待っています。」式典を終え、神の家を退堂する参加者には、これから先の生活に不安をかえながら、その顔には、何かと、満された微笑が感じられた。

福岡教区カトリック学校中堅教職員研修会
今年で第6回となる「福岡教区カトリック学校中堅教職員研修会」が、6月8日福岡海星女子学院附属小学校と認定こども園マリア幼稚園を会場に開催された。当研修会は福岡教区内にある8つのカトリック学校の教員たちが、年3回の研修会を通じてカトリック学校の特徴や精神について学ぶ機会として設けられ、毎年小中学校の教員30人以上が参加している。

午後には日本二十六聖人記念館館長のレンゾ・デ・ルカ神父が、「キリシタン時代のカトリック教育」という演題で講和をおこなった。館長はキリシタン時代から教会には「教え合う」という能動的な教育が存在したという事例を挙げ、今後のカトリック学校のあり方を考えるうえで示唆となると話した。また日本の教会が自立した存在として生き残った背景には、地元への順応化があったということを解説した。

カトリック学校について学ぶ

福岡教区カトリック学校中堅教職員研修会

（報告）高木光行



いつくしみ深く
御父のように

九州臨床宗教師会 寄り添い、耳を傾ける

「アイスコーヒーもありませんよ。」九州臨床宗教師会の僧侶や牧師らが運営する傾聴喫茶「カフェ・デ・モンク」が熊本地震の被災者たちが車中泊を続ける熊本県益城町の「グランメッセ熊本」で定期的に開催されている。

「臨床宗教師」は布教活動を目的とせず、宗教宗派を超えて協働し、人々の心に寄り添う宗教者だ。九州臨床宗教師会では、被災者たちが車中泊を続ける熊本県益城町の「グランメッセ熊本」で定期的に開催されている。



平和は微笑みから始まります

by 福者マザー・テレサ

現在のところ、全国で8つの大学が臨床宗教師を養成する講座を開設している。養成や活動についての問合せは九州臨床宗教師会まで。

メール k.rinshu@gmail.com



子ども達と通学船で。中央が井手氏

JLMM活動報告会 人々とのより深い交流を

ログラムを提供するのが主な活動。具体的には、教会でのきれいな水を利用した水浴び、耳掃除や爪切り、歯磨き指導、月一回のクリニックの開設、語学学習、計算学習指導など。

2年半の活動契約期間はこの夏で終了する予定だったが、井手さんは、1年間延長することを決めた。「やっとクメール語(カンボジアの公用語)で人々と会話ができるようになった。人々とより深い交流をして、人々と村のことをもっと理解したい。また、子どもの教育に関わる中で、子どもの成長を見ていきたいと感じた」と延長を決意した。「大変な思いをすることや、きついこともある。」そんな中で日本で気づけなかったことに気づく自分がある。その中でも一番楽しく、大切な体験は「家族で必ず食事をする」ことだ。

JLMMでは、毎年春と夏にカンボジアやタイなどに向け、スタディーツアーを実施している。活動地を訪問し、現地の人々と派遣者たちと交流する、「見る」だけではなく「体験する」ツアー。ツアーや活動の詳細は同会のホームページ(www.jlmm.net)を参照。

マグダラの聖マリア 記念日を祝日に格上げ

教皇フランシスコはマグダラの聖マリアがキリストの復活の最初の証人だったことと「真に信頼すべき福音宣教師」だったことを認定し、7月22日の記念日を今年から全教会の典礼暦の祝日に格上げした、とバチカンが発表した。教皇の決定を公式に発表する教皇庁典礼秘跡省による教令とその意義を説明する文書が6月10日、同時に公表された。教令と説明文書の題名は「使徒たちへの使徒」。

典礼秘跡省次官のアーサー・ロシュ大司教はバチカン紙「オッセルバトーレ・ロマーノ」の記事で、「復活の喜びの中心的メッセージを伝える福音宣教師」としてのマグダラの聖マリアの祝日を記念することによって、全キリスト信者には「女性の尊厳と新しい福音化、神のいつくしみの神秘の偉大さをより深く省みる」ことが求められる、と指摘した。

(カトリック新聞 6月19日号より一部転載)

BOOK 読みは専科

☆アッシジの聖フランシスコ
影絵と文 藤城清治



影の旅人・藤城清治が、おくる聖フランシスコの愛と清貧と祈りの道。

21年の歳月をかけて、92歳の影絵の巨匠が、世界的に愛されている聖人、フランシスコの生涯をえがき、現代のひとびとに、生きる喜び、励まし、いやしをとどけるける渾身の作。すべてのものを「兄弟姉妹」と呼び、とくに弱く小さなものを愛して、貧しく、きよく、平和に生きた聖人が、今、ここに！とに美しく、力強く、優しい影絵に魅了される大型絵本。

女子パウロ会発行
税込み価格 4644円

☆1年をとおしてよむせいしよ
税込み価格 3024円



分かります。温かみのある文と、彩り豊かな動きのあるイラストで、聖書の世界をご案内します。選ばれた物語のあちこちに、子どもや動物のキャラクターが登場し、お子さまが聖書に親しみ、お祈りの習慣を身に付けることに役立つ絵本です。

サンパウロ発行
税込み価格 3024円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみ深く
御父のように

FYCC（福岡ユースカトリックキャンプ）

日時：8月13日（土）～14日（日）
場所：日本カトリック神学院 福岡キャンパス
対象：福岡県内の小教区所属又はミッションスクールに通う中学1年生～高校3年生
参加費：3000円（兄弟姉妹割引2500円）
申込〆切：7月29日（金）
問合せ：catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp
☆福岡県外（熊本・佐賀）からも参加希望の方はお気軽にお問い合わせください。
☆詳細・申込については各小教区に配布されている案内を参照ください。

生活聖化委員会<典礼部会>より

【典礼コラムスタート】

教区報7月号より白浜満神父様に典礼に関する連載をいただきます。

【福岡教区典礼研修会】

日時：9月22日（木） 10時～16時
場所：大名町教会

☆詳細は改めて各小教区にお知らせいたします。

福岡教区納骨堂管理委員会より

【和田墓地清掃日程】

日時：7月24日（日） 9時から
清掃後 11時よりミサ
＜雨天時予備日 7月31日＞

【8月の開放日】

8月13日（土）10時～15時
8月14日（日）10時～15時
8月15日（月）10時～15時
14時追悼ミサ・納骨式

セントポール FUKUOKA より

【夏季休業日のお知らせ】

8月15日、16日、17日がお休みにになります。

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

8日（金） 女性の会（日帰り）
8日（金）～17日（日） 奉献生活者のための黙想会（募集中）
9日（土）～10日（日） 月例黙想会（募集中）
16日（土） 黙想するロザリオの会（指導：内山恵介神父）
17日（日）～20日（水） 産業医大医学概論セミナー（空室10）
24日（日）～30日（土） サレジオ修道会（空室0）

【8月】

1日（月）～2日（火） 雙葉学園（空室0）
3日（水）～4日（木） カトリック学校教職員研修（空室0）

*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエスとの出会い その喜びを味わう

・日時：7月14日（木）10時～15時

・内容：サマリアの女（ヨハネ4：6-30）

指導者：フランコ・ソットコロノラ神父（真命山院長）

問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

・次回：8月休み、9月8日（木）ベトサダの病人

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月2日、16日、30日、8月13日
10時～11時45分

場所：カトリック大名町教会小聖堂

【7月】

1日（金） 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者

初金ミサ・サーリスの集い

3日（日） 年間第14主日 「貧しい共働体」ミサ

5日（火） 臨時司祭評議会

†F.ハンター（2000年 手取教会）

7日（木） 常任司教委員会、諸宗教対話部門会議

†A.シアニ（2011年 古賀教会）

9日（土） 年間第15主日

11日（月） 聖ベネディクト修道院長

†T.リシャール（2011年 箱崎教会）

13日（水） 福岡海星女子学院「アシジハウス」落成祝福式

14日（木） 福岡コレジオ会議（～15日）

15日（金） 聖ボナベントウラ司教教会博士

16日（土） 教区創立記念日

17日（日） 年間第16主日

18日（月） 海の日 幼児教育教職員養成研修実行委員会

19日（火） †P.クレイトン（2011年 本渡教会）

22日（金） 聖マリア（マグダラ）

24日（日） 年間第17主日 †T.ダウド（2008年 手取教会）

25日（月） 聖ヤコブ使徒

26日（火） 聖マリアの両親聖ヨアキムと聖アンナ

（学法）発起員会

27日（水） 聖ヨアキム・聖アンナのミサ（高宮教会）

29日（金） 聖マルタ †T.グローガン（2004年 美野島教会）

31日（日） 年間第18主日

【8月】

3日（水） 福岡教区カトリック学校中堅教職員研修会（～4日）

5日（金） 初金ミサ・サーリスの集い 広島平和祈願の集い

6日（土） 主の変容 原爆・戦争犠牲者追悼ミサ（広島）

■ゴチックは司教日程

福岡

◆傾聴学びのご案内

（日時）7月1・2日、9月2・3日、10月28・29日、9時半

16時半（場所）サンパウロ福岡宣教センター3階（講師）

W・キップス師（NPO臨床パストラル教育研究センター

理事長「テキスト」「聴く耳

みる目、理解する心」「費用

一日3000円（問合せ・申

込先）☎090・9568・

0076野川

■聖ドミニコ信徒会集会

（日時）第1・3土曜14時

16時（場所）箱崎教会（内容

ミサ・聖ドミニコについての

お話（指導）アントニオ・李

神父（ドミニコ会）（問合せ先

☎090・1174・287

7岩村

■祈りの集い・勉強会

（日時）7月9日（土）14時

から（場所）聖パウロ修道会福

岡修道院（指導）永富久雄神

父聖パウロ修道会（問合せ

☎092・541・3730

松山

■「いつくしみの特別聖年」の

ための黙想会（日時）7月9

日（土）19時ミサ、21時、10

日（日）9時半ミサ、14時（場

所）高宮教会（指導）ペトロ

神父（カプチン会）（内容）講

話、ゆるしの秘跡、ロザリオ

の祈り、聖体賛美式（問合せ

☎092・531・6494

高宮教会

■福岡ホスピスの会 勉強会

（日時）7月10日（日）14時

16時（場所）大名町教会4階

会議室（テーマ）わたしのこ

ころづもり、アドバンス・ケ

ア・プランニング（講師）

斉藤如由先生（参加費）会

員500円・一般1000円（問

合せ先）☎090・1162・

6395柴田

■レジオマリエ福岡クリア

（日時）7月10日（日）14時

から（場所）高宮教会（問

合せ先）☎090・5936・383

1今野

■震災のための祈りのリレー

（日時）7月11日（月）ミサ6

時半から・夕の祈り19時から

（場所）高宮教会（問合せ先

☎090・2305・519

1 Br.阿部パウロ会

■聖書に集う会

（日時）7月13日（水）14時

15時半（場所）サンパウロ福

岡宣教センター3階ホール

（講師）鈴木信一神父（パウ

ロ会）（問合せ先）☎090・

2305・5191 Br.阿部パ

ウロ会

■虹の会（子どもをなくした

親の会）（日時）7月16日（土

14時、16時半（場所）大名町

教会3階会議室（参加費）6

00円（茶菓子代）（問合せ先

☎090・1162・639

5柴田

■福岡ホスピスの会 第2回

がん哲学外来「ぬくみカフェ

（日時）7月17日（日）14時

16時（場所）大名町教会4階

会議室（内容）「がん」につ

いて語る会。当事者・家族・友

人限定（要申込）（参加費）

会員無料・一般500円（問

合せ先）☎090・1162・

6395柴田

■在セフランシスコ会集会

（日時）7月17日（日）14時

から（場所）高宮教会（指導

ジョ

ンソン神父（カプチン修道会

（問合せ先）☎092・843・

5831岩崎

■福岡召命を共に祈る会

（日時）7月19日（火）13時半

から（場所）大名町教会（内

容）ロザリオの祈り、分かち

合い（問合せ先）☎092・9221・

4532山口

■グレゴリオ聖歌を歌う会

（日時）7月19日（火）11時

から（場所）聖クララ寮（内

容）グレゴリオ聖歌ミサとベ

ネデイクシオン（問合せ先）☎

096・380・5686堺

■ラスキン黙想と祈りの集い

（日時）7月22日（金）19時

45分から（場所）大名町教会小

聖堂（問合せ先）☎090・

2305・5191 Br.阿部（パ

ウロ会）

■心の問題（心の健康セ

ミナー）の継続版

（日時）7月24日（日）14時

16時（場所）福岡黙想の家ロ

グハウス（テーマ）対話（アド

バイザー）稲津佳世子氏（精

神科医師）（参加費）自由献

金（問合せ先）☎0940・

33・2731吉永

■カルメル在世会集会

（日時）7月25日（月）10時半

から（場所）福岡女子カルメ

ル会修道院・テレサの家（内

容）ミサ・講話（指導）中川

博道神父（カルメル会）（問

合せ先）☎095・828・2

350鶴池

■聖ヨアキム・聖アンナのミ

サ（日時）7月26日（火）13時

半から（場所）高宮教会（内

容）ミサ（宮原良治司教司式、講

演会、ミニコンサート他（問

合せ先）☎090・9568・

0076野川

■美野島司牧センター

あなたの勇気が路上のいのちを

支えます！◆ホームレスの方に

手作りお昼ごはん 毎週火曜日

10時30分◆ホームレス支援夜回

り第1金曜日20時◆路上からア

パートに入居した方を訪問 第

3土曜日13時（問合せ先）☎0

92・431・1419M・コ

ー

■いつくしみ深い御父をたた

える集い（日時）8月7日（日）

14時、16時（場所）笹丘教会

（内容）主日のミサ（遠山満神

父司式）と祈り※ロザリオ

をご持参ください（問合せ先

☎092・821・6349

森

北九州

◆北九州召命を共に祈る会

（日時）7月14日（木）14時

から（場所）小倉教会（内

容）ミサと茶話会（問合せ先）☎0

949・24・9905藤井

■小倉祈りの集い

（日時）7月22日（金）13時半

15時（場所）小倉教会信徒会

館2階指導 牧山勝美神父（内

容）みことばを味わう・賛美

と感謝の祈り（問合せ先）☎0

90・3985・5209松

田

佐賀

◆佐賀祈りの集い

（日時）7月8日（金）10時

12時（場所）佐賀カトリック

会館（内容）ミサと祈り（問

合せ先）☎0952・30・8

347吉武

■佐賀テゼの祈り

（日時）7月9日（土）20時

から（場所）佐賀教会聖堂（問

合せ先）☎080・6455・

9267秋吉

熊本

◆聖霊による刷新熊本祈りの

集い（日時）毎週金曜日10時半

12時（場所）手取教会信徒会

館（内容）賛美と感謝の祈り・

聖書と典礼の分かち合い（問

合せ先）☎096・384・1

693中川

■熊本地区召命を共に祈る会

（日時）7月21日（木）（場所）

健康教会（問合せ先）健康教会

☎096・368・2825浦

川務神父

編集後記

イエス様と共に御父に向
かって力強く歩もう。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードポール薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリード（検索）

0120-45-1616